

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 6 月 23 日 (2011.6.23)

【公開番号】特開 2009-242293 (P2009-242293A)

【公開日】平成 21 年 10 月 22 日 (2009.10.22)

【年通号数】公開・登録公報 2009-042

【出願番号】特願 2008-90472 (P2008-90472)

【国際特許分類】

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

C 0 7 F 3/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 471/04 1 0 8 K

C 0 9 K 11/06 6 6 0

H 0 5 B 33/14 B

H 0 5 B 33/22 B

C 0 7 F 3/06 C S P

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 5 月 2 日 (2011.5.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

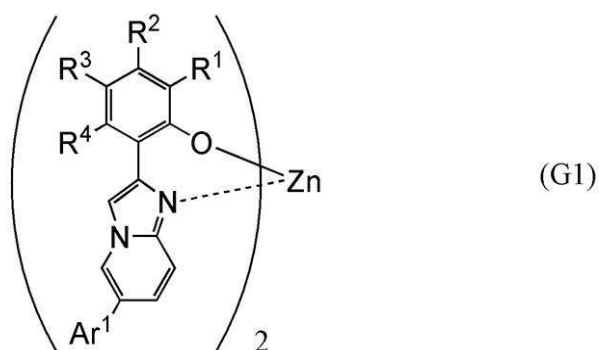
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記一般式 (G 1) で表される有機金属錯体。

【化 1】



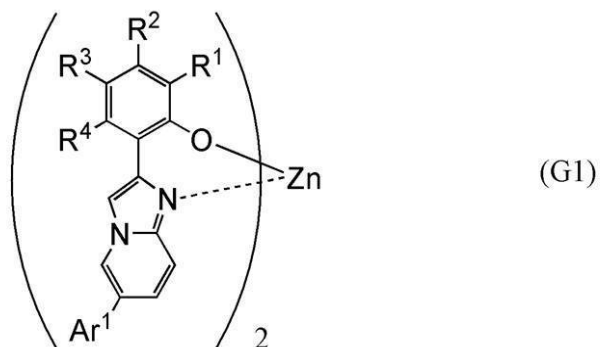
(但し、式中 R^1 乃至 R^4 はそれぞれ独立に水素、ハロゲン、メチル基、メトキシ基、トリフルオロメトキシ基のいずれかーを表し、 Ar^1 はフェニル基又はナフチル基を表す。

)

【請求項 2】

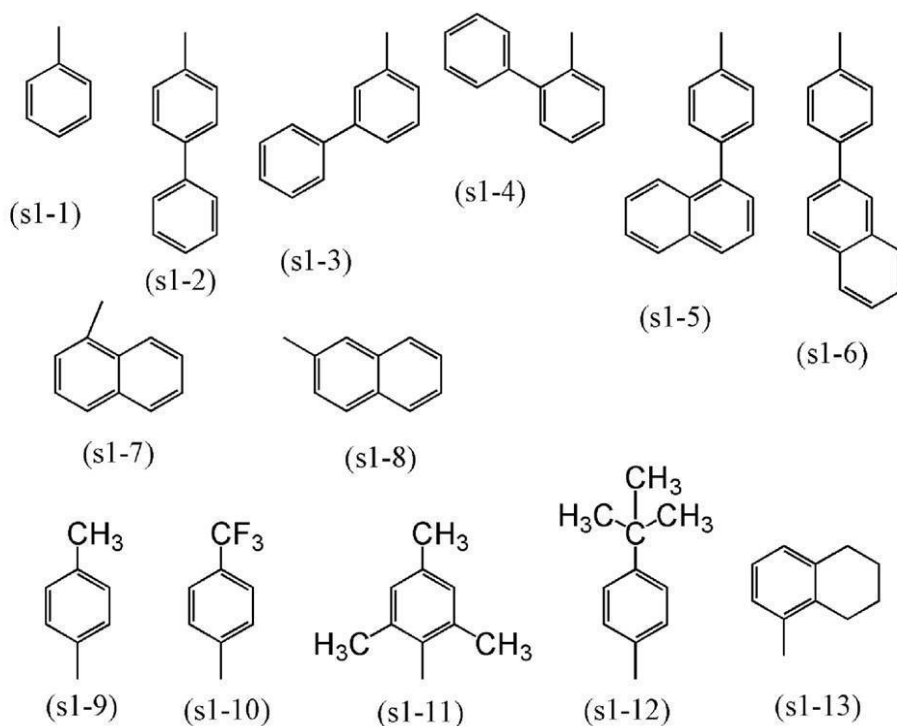
下記一般式 (G 1) で表される有機金属錯体。

【化 2】



(但し、式中 R^1 乃至 R^4 はそれぞれ独立に水素、ハロゲン、メチル基、メトキシ基、トリフルオロメトキシ基のいずれかーを表し、 Ar^1 は下記構造式 (s1-1) 乃至 (s1-13) で表される基のいずれかーを表す。)

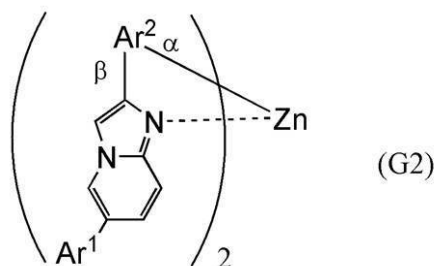
【化 3】



【請求項 3】

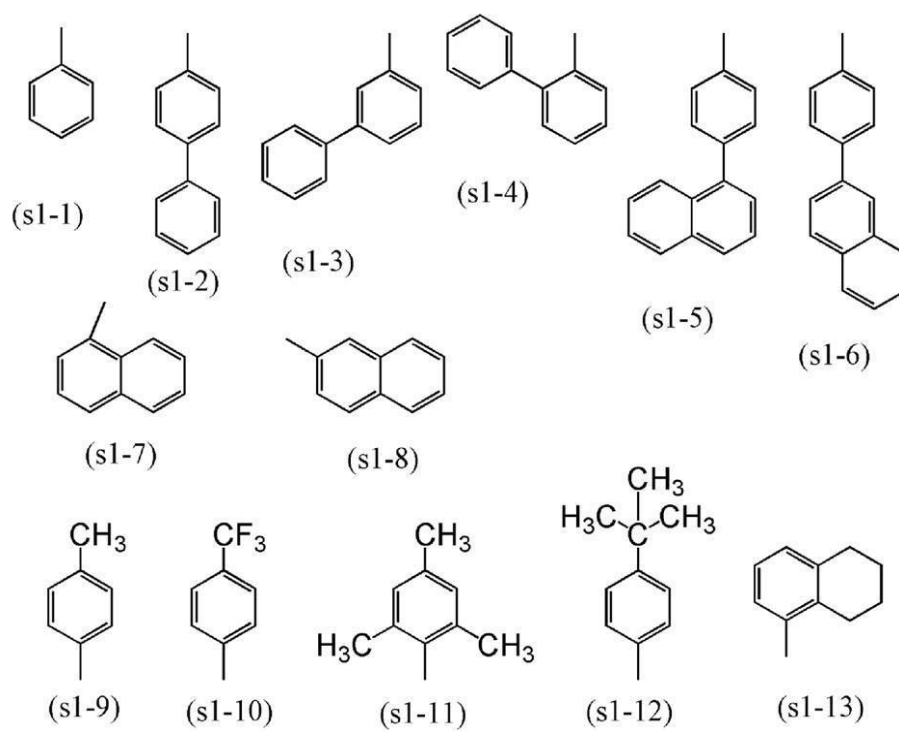
下記一般式 (G2) で表される有機金属錯体。

【化 4】

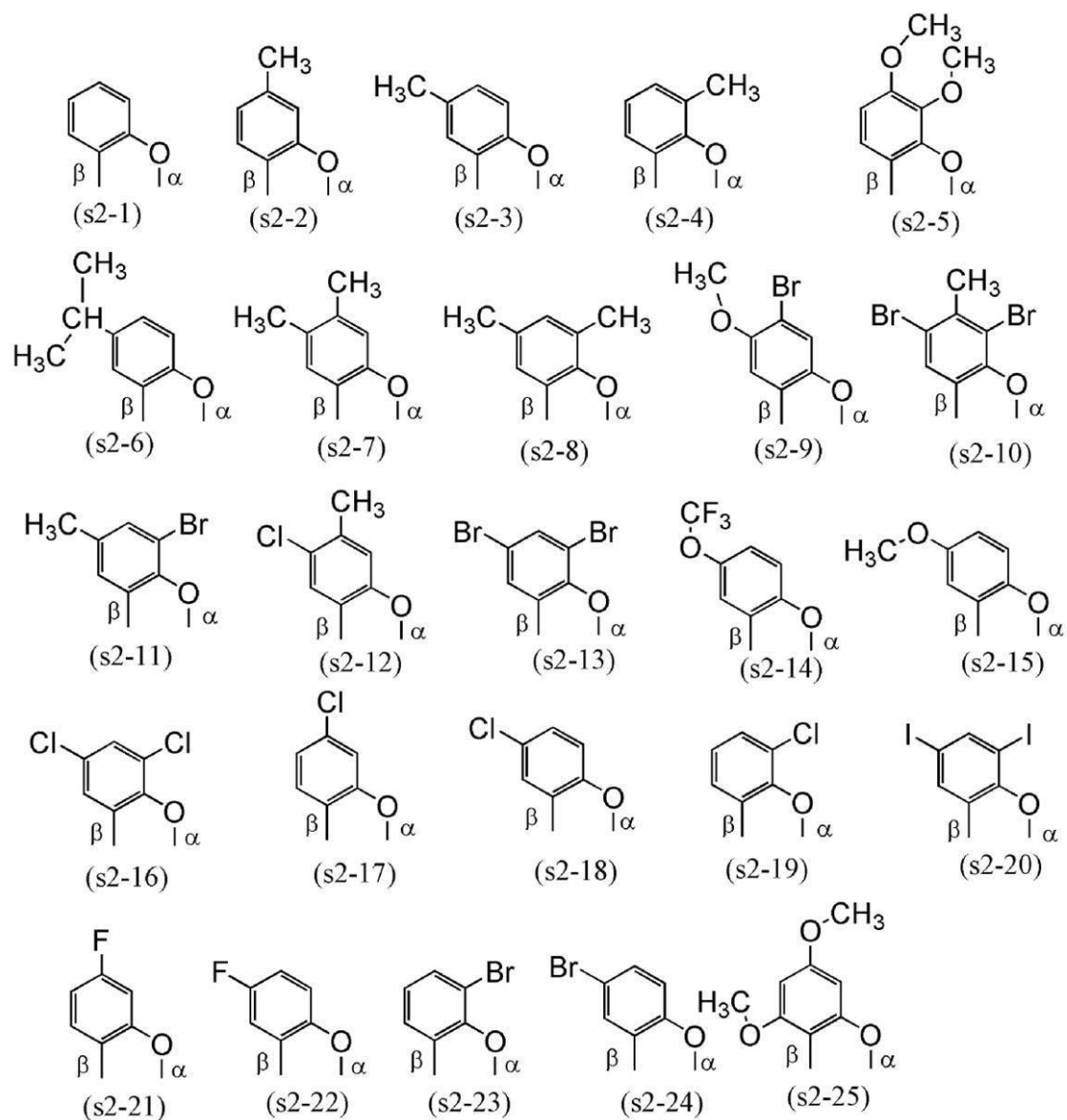


(但し、式中 Ar^1 は下記構造式 (s1-1) 乃至 (s1-13) で表される基のいずれかーを表し、式中 Ar^2 は下記構造式 (s2-1) 乃至 (s2-25) で表される基のいずれかーを表す。なお、下記構造式 (s2-1) 乃至 (s2-25) と一般式 (G2) における α 及び β は互に対応しているものとする。)

【化 5】



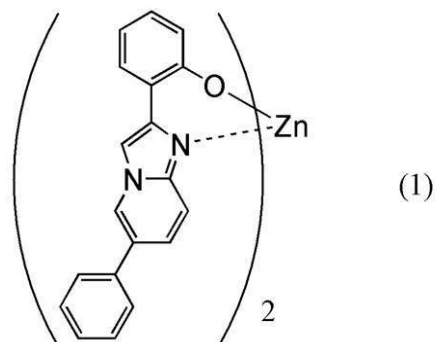
【化 6】



【請求項 4】

下記構造式 (1) で表される有機金属錯体。

【化 7】



【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一項に記載の有機金属錯体を含む発光素子用材料。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一項に記載の有機金属錯体を含む発光素子。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の発光素子と前記発光素子を制御する手段とを備えた発光装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の発光装置を搭載した電子機器。